

## 令和元年度第3回臨時理事会議事録

日時 令和元年6月22日(土) 16:00~16:40

会場 都市センターホテル 3F 「コスモスホールⅡ」

出席者：

理事長：木村 正

副理事長：青木 大輔、加藤 聖子

理事：池田 智明、榎本 隆之、大須賀 穰、岡本 愛光、亀井 良政、工藤 美樹、  
小林 陽一、古山 将康、鮫島 浩、生水 真紀夫、関沢 明彦、竹下 俊行、永瀬 智、  
藤井 多久磨、前田 長正、万代 昌紀、三上 幹男、宮本 新吾、八重樫 伸生、  
渡利 英道

監事：櫻木 範明、平松 祐司、藤井 知行

顧問：小西 郁生

特任理事：宮城 悦子

専門委員長：藤原 浩

幹事長：阪埜 浩司

副幹事長：矢内原 臨

幹事：岩佐 武、岩瀬 春子、上田 豊、馬詰 武、織田 克利、木村 文則、桑原 慶充、  
小出 馨子、小松 宏彰、近藤 英治、佐藤 健二、関根 正幸、田中 博明、寺尾 泰久、  
土井 宏太郎、徳永 英樹、平田 英司、松岡 歩、矢幡 秀昭、山上 亘

議長：光田 信明

副議長：久具 宏司、小谷 友美

弁護士：平岩 敬一

事務局：吉田 隆人、加藤 大輔、青野 秀雄

### 1. 議長の選出

午後4時、理事総数25名のうち23名が出席し(柴原浩章理事、杉野法広理事は欠席)、藤井知行監事の発議および理事の互選により青木大輔理事が議長となった。議長が開会の宣言を行い、議事録署名人として本日選出される新理事長および総会後に就任した櫻木範明監事、平松祐司監事、藤井知行監事の計4名を選任することが提案され、全会一致で承認された。

### 2. 理事長の選出

**青木大輔理事**「定款第25条2項に基づき、理事互選による理事長(代表理事)の選出手続に入りたいと思います。平成31年4月11日の平成31年度次期理事・監事会議において理事長予定者として選出された木村正理事を正式に理事長(代表理事)としてこの場で選出することに異議はありませんか。」

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

### 3. 新理事長(代表理事)の就任受諾とあいさつ

**木村正理事長**「ありがとうございます。所信については、先ほどの定時総会閉会後の場で述べさせていただいた通りですが、様々な問題に対してこの2年間、真摯に取り組まさせていただく所存です。理事、監事、議長団、特任理事、顧問、幹事の先生方など、皆様方のご尽力と事務局の支援がなければできないことですので、この2年間、どうぞよろしく願いいた

します。」

#### 4. 副理事長、常務理事の選出 [資料1]

**木村正理事長**から、青木大輔理事、加藤聖子理事に副理事長を委嘱したいとの提案があった。本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

続いて、常務理事については、青木大輔理事（総務）、池田智明理事（会計）、大須賀穰理事（学術）、加藤聖子理事（編集）、岡本愛光理事（渉外）、万代昌紀理事（社保）、八重樫伸生理事（専門医制度）、三上幹男理事（倫理）、工藤美樹理事（広報）、関沢明彦理事（教育）に委嘱したいとの提案があった。

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

#### 5. 幹事長、副幹事長の選任 [資料1]

**木村正理事長**から、幹事長を阪埜浩司先生に、副幹事長を矢内原臨先生に委嘱したいとの提案があった。

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

#### 6. 顧問の選任 [資料1]

**木村正理事長**「顧問は学会の業務全般について助言をいただける方を理事長が指名して理事会で承認を受けることになる。本会顧問として引き続き、小西郁生先生、吉村泰典先生にお願いし、任期は令和3年度定時総会までとしたい。」

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

#### 7. 特任理事の選任 [資料1]

**木村正理事長**「特任理事については、海野信也先生に『リプロダクティブ・ヘルス普及推進』に関する特任理事を、宮城悦子先生には『子宮頸がん検診・HPV ワクチン促進』に関する特任理事をお願いしたい。」

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

#### 8. 幹事の選任 [資料1]

**木村正理事長**より、岩佐武、岩瀬春子、上田豊、馬詰武、織田克利、木村文則、桑原慶充、小出馨子、小松宏彰、近藤英治、佐藤健二、関根正幸、田中博明、寺尾泰久、土井宏太郎、徳永英樹、平田英司、松岡歩、矢幡秀昭、山上亘の各先生を幹事に選任したいとの提案があった。

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

（顧問、特任理事、幹事が入室）

#### 9. 理事、特任理事及び幹事の業務分担 [資料1]

**木村正理事長**から、理事及び幹事の業務分担案を説明した。

**木村正理事長**「最終的な決定が一部ずれ込む部分があるが、基本的にはこの案で進めさせていただきたい。」

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

**木村正理事長**「常務理事の先生に少しお願いをしておきたいと思う。総務については、これからサブスペシャリティ学会との連携が重要になってくるのでよろしくお願ひしたい。会計について平成30年度決算は改善したとはいえ、1,000万円ほどの赤字であり、収支の均衡をどうしていくか、について知恵をいただきたい。学術は若手育成のために若手をどう顕彰していくかについて検討していただきたい。編集は、JOGRのインパクトファクターが1.1を越えたという報告があったが、引き続きその向上をお願ひしたい。渉外については、海外の学会と協力し、海外の医療現場を見て若手が刺激を受けるようなメニューの企画をお考へいただきたい。社保は、出生数の減少による出産育児一時金の余裕金についての対応および産婦人科へのアクセスを維持するための外来診療の点数について検討いただきたい。専門医制度は、優れたプログラムは私たちの生命線なので引き続きお願ひしたいとともに、今後必ず起こってくるシーリング議論への対応をお願ひしたい。倫理は、NIPTなど難題が多いが、引き続きよろしくお願ひしたい。広報は、女性の健康週間も担当いただく。またBabyプラスのメディアとしての活用、あるいは学術的な活用について、ルール作りを含めてお願ひしたい。教育は、ガイドラインや必修知識など、様々な若手教育のための書籍が出ているが、それらの刊行時期の調整やWeb化の検討などをお願ひしたい。リプロダクティブ・ヘルス普及推進は、児童虐待やワクチン問題、人工妊娠中絶などを含めて議論をいただきたい。サステナブル産婦人科医療体制確立については、定時総会でも質問があったように地方の産婦人科は危機的状態にあるので、具体的な提言をお願ひしたい。子宮頸がん検診・HPVワクチン促進は、婦人科腫瘍委員会と協力して国民への広報などを引き続き進めていただきたい。担当業務についてお願ひしたいことは以上であるが、それに加えて理事の先生方は、この学会の英知を集めるために理事会の際にはできるだけ多くご発言いただくようにお願ひしたい。」

#### 10. 特任理事、幹事団の挨拶

**宮城悦子特任理事**「HPVワクチンについては、藤井前理事長の退任挨拶でこの4年間は残念だったとのコメントがあったが、必ずや前進できるように先生方のご協力を仰ぎながらやっていきたい。また今後、HPVの検診についての議論が出てくると思うので、学会がコンセンサスを作っていけるように頑張っていきたい。」

そのあと、阪埜浩司幹事長、矢内原臨副幹事長から挨拶があった。

#### 11. 常置委員会、理事会内委員会について [資料1]

**木村正理事長**から、各委員会の委員長、副委員長、主務幹事及び委員の委嘱について、説明があった。

**木村正理事長**「常置委員会については今までコメントした通りであるが、地方連絡委員会には、地方との十分な意見交換をお願ひしたい。また理事会内委員会のなかでコンプライアンス委員会は、私たちの活動が社会的規範に照らして正しいことを確認、証明していく役割をお願ひしたい。未来委員会には、若手のリクルートおよび若手の意見を吸い上げて本会の活動に反映させることをお願ひしたい。医療安全推進委員会には、日本医療機能評価機構とうまく連携して活動してほしい。リプロダクティブ・ヘルス普及推進委員会には、リプロダクティブ・ヘルスという考え方を使って女性、子供にきちんと向き合う社会に近づけるように活動してほしい。公益事業推進委員会は、目的を定めた寄附は集めやすいかもしれないので関係委員会と連携し

て進めてほしい。子宮頸がん検診・HPV ワクチン促進委員会には、社会への発信をよろしくお願ひしたい。」

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

#### 12. 鑑定人推薦委員会について [資料 2]

木村正理事長から、鑑定人推薦委員会委員の委嘱について説明があった。

木村正理事長「委員長については、ここで委嘱された委員の互選で決めていただきたい。

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

#### 13. 専門委員会について [資料 3]

木村正理事長から、本年度第 1 回理事会で推薦された専門委員会委員について説明があった。

木村正理事長「親委員会の事業については、予算の範囲内で、委員長の裁量で参加していただく方を入れることは可能なので、引き続き活発な事業展開をお願いしたい。」

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

#### 14. 役員の確認書について [資料 4]

木村正理事長「本会は公益法人なので、私から各役員に対して、暴力団との関係がないなど、確認書の内容に抵触していないことの確認を行う。現状を確認するかぎりには問題ないと思うが、新役員の登記を行った後に内閣府に対して新役員を報告する際、確認書を提出する予定であるのでご了解いただきたい。」

本件につき特に異議なく、全会一致で承認された。

#### 15. 令和元年度及び令和 2 年度日本産科婦人科学会予定表 [資料 5]

阪埜浩司幹事長「令和 2 年度の予定表はまだ案の段階なので、先生方の方で大きな学会とバッティングしているなど、何か都合の悪い日程があれば、事務局にお伝えいただきたい。本会は公益法人なので理事の出席は重要であり、ぜひスケジュールの確認をお願いしたい。」

青木大輔副理事長「最終的には 8 月末の第 2 回理事会で決定する。まだ変更できる段階なので、十分にご確認をお願いしたい。」

木村正理事長「2、3 月の入学試験の時期などは日程が厳しくなる先生が居られるかもしれない。個々の大学の日程まではチェックできないが、なるべく影響の少ない日程にしたいのでよく確認しておいていただきたい。」

#### 16. その他

令和元年度諸会議議事録作成幹事予定表について [資料 6]

阪埜浩司幹事長から、幹事の先生方が担当する令和元年度諸会議の議事録作成予定表について説明があり、内容を確認した。

以上

